かみのかわ

ふれあいネットワーク

社協だより No.200

●編集発行／社会福祉法人上三川町社会福祉協議会　●発行日／令和7年5月1日
●上三川いきいきプラザ内　☎56−3166　FAX 56−3164

居場所サポート ボランティア養成講座

参加者募集！

町内で開催されているいきいきサロン、ミニサロン、創年倶楽部等、地域の「居場所」として気軽に集える場の運営や、参加者が楽しめるレクリエーション等を提供する「居場所サポートボランティア」の養成講座を町と共催で開催します。ぜひご参加ください。

開催期日・時間

6月13日(金) 6月27日(金)	両日とも 午後1時30分から午後4時

※6月14日から26日の間に居場所での活動見学あり

場　所　上三川町保健センター（上三川いきいきプラザ　1階）

対　象　ボランティアに関心があり、修了後、地域でのボランティア活動にご協力いただける方。年齢、資格等は問いません。

費　用　無料

持ち物　筆記用具、飲み物、タオル、動きやすい服装でお越しください。

申込み　5月19日(月)までに下記へお申込みください。

上三川町社会福祉協議会　TEL：56−3166
FAX：56−3164　mail：chiiki@kamisyakyo.or.jp

目次

P1 居場所サポートボランティア養成講座
P2 成年後見サポートセンター、成年後見セミナー、終活勉強会
P3 認知症サポーター養成講座、認知症家族交流会
P4〜6 令和7年度事業計画・予算
P7 役員体制、善意銀行寄付、新任あいさつ
P8 ボランティア活動紹介、評議員会だより

じぶんの町を良くするしくみ。赤い羽根共同募金

社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金により作成されています。

成年後見サポートセンターのご案内

本会では成年後見制度利用促進の中核機関である「成年後見サポートセンター」を町から受託し、制度に関するあらゆる相談への対応や、制度に関する周知等を行っております。

制度活用をお考えの方や対象者をとりまく医療・福祉関係機関の方、後見人等受任者の方で、制度について不明なことやお困りごとがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

成年後見制度とは

認知症、知的障がい、精神障がい、発達障がい等によって物事を判断する能力が十分ではない方について、権利を守る援助者（成年後見人等）を選ぶことで、ご本人を法律的に支援する制度です。

参加無料 「初めてでもよく分かる！成年後見普及啓発セミナーin上三川」のお知らせ

成年後見制度の目的や内容、活用事例についてのセミナーを開催いたします。関心のある方から福祉・医療関係機関の方まで、どなたでもご参加いただけます。また、セミナー終了後、ご希望の方には法律や福祉の専門職による個別相談会を実施します。

開催日時	会　場	セミナー講師
7月3日(木) 受　付：13時 セミナー：13時30分～15時(定員70名) 個別相談会：15時～16時(定員9組)	上三川 いきいきプラザ 大会議室	宇都宮家庭裁判所 主任書記官　三木　万理　氏 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部 司法書士　佐伯　祐子　氏

セミナーに関するお問い合わせ

上三川町成年後見サポートセンター（上三川町社会福祉協議会地域福祉係）

TEL：56-3166　FAX：56-3164　Mail：chiiki@kamisyakyo.or.jp

申込期限
6月19日(木)

終活勉強会　～老後のことについて考えてみませんか？～

成年後見制度の理解やエンディングノートの活用方法、終活についての勉強会を開催いたします。
全3回のうち、関心のある回の参加のみでも可能です。

開催日時			会　場	内　容	申込期限
第1回	6月11日(水)	13時30分～15時 (13時受付)	上三川 いきいきプラザ 大会議室	成年後見制度ってどんな制度？	6月10日(火)
第2回	7月10日(木)			事例から成年後見制度を知ろう	7月 9日(水)
第3回	7月16日(水)			エンディングノートと終活について	7月15日(火)

終活勉強会に関する申込・お問い合わせ

上三川町地域包括支援センター（上三川町社会福祉協議会相談支援係）

TEL：56-5513　FAX：56-6381　Mail：hokatu@kamisyakyo.or.jp

参加費無料

認知症を学ぼう
認知症サポーター養成講座

開催日時 令和7年 6月19日(木)
午後1時30分～3時（受付 午後1時～）

会場 上三川いきいきプラザ 2階 大会議室

申込 上三川町地域包括支援センター
TEL：56-5513　FAX：56-6381
mail：hokatu@kamisyakyo.or.jp

6月16日(月)までにお申し込みください。

※FAX、メールでお申込みの場合は、名前、住所、連絡先、年齢をご記入ください。

今後の予定（開催会場・時間につきましては、第1回と同じです。）

第2回 9月18日(木)／第3回 12月19日(金)／第4回 令和8年1月23日(金)

※第4回につきましては、開催会場、時間等に変更がある場合がありますので、改めて、社協だより、かみたんメールでお知らせします。

認知症の人を介護する家族の 認知症家族交流会

認知症の人を介護する家族のための交流会です。
経験や悩みを同じ仲間と話したり、情報交換ができる場です。

	日　時	
第1回	6月10日(火)	午後1時30分～3時
第2回	8月27日(水)	
第3回	10月　9日(木)	
第4回	12月18日(木)	
第5回	2月12日(木)	

心の中のモヤモヤや悩み、本音を話すことで心が軽くなります。
同じ立場だからこその共感や新たな発見があります。1回のみの参加も可能ですので、是非ご参加ください。

会場 上三川いきいきプラザ 2階 中会議室

申し込み 上三川町地域包括支援センター
TEL 56-5513　FAX 56-6381
Mail hokatu@kamisyakyo.or.jp

5月30日(金)までに
電話、FAX、メールで
お申し込みください

～ 令和7年度 事業計画 ～

本会では、「第3次地域福祉活動計画」に基づき、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、町に暮らすすべての人が安心して、生きがいのある生活が送れるよう、地域での助け合い・支え合いによる地域福祉のまちを目指して、以下の4つの基本目標のもと、各種施策・事業を通し、地域福祉の推進に努めてまいります。

基本目標① 地域福祉活動を担う人づくり

○福祉教育の企画相談・講師紹介・出前講座
○ふくしアクションプログラム事業
○中学生・高校生サマースクール
○サマースクールフォローアップ事業
○認知症サポーター養成講座
（小・中学生、一般向け）
○ふれあい健康福祉まつり
○福祉の集い
○いきいきサロン・ミニサロンへの支援
○生きがいサロンの開催
○地域の見守りと買い物支援事業（移動スーパー）
○介護予防事業
○楽らく隊（ボランティア）養成講座
○手話奉仕員養成講座
○朗読講習会・朗読・
点字ボランティア研修会
○ボランティアセンターの運営

福祉教育（盲導犬講座）

基本目標② 地域福祉活動を支える助け合い・支え合いの仕組みづくり

○地区社会福祉協議会への支援
○小地域福祉活動計画策定
（令和8年度策定）
○コミュニティ推進協議会との連携
○地域ネットワーク構築「くろねえ事業」
○食事サービスボランティア連絡会
○福祉協力員設置及び研修会
○社会福祉協議会備品貸し出し
○団体事務室の管理
○各種団体との連携と支援
○自立支援型地域ケア会議
○保健、医療、福祉等関係機関との連携強化
○救急医療情報キット配布事業
○社会福祉法人連絡会
○高齢者支援協議体（第1層協議体）への参画
○介護支援専門員連絡会

くろねえ会議

上三川町社会福祉協議会　基本理念

支えあい(愛)・助けあい(愛)・つながり感じて暮らすまち

基本目標 3 自立した生活を送ることができる基盤づくり

○総合相談窓口
○地域包括支援センターの受託
○心配ごと相談事業の受託
○重層的支援体制整備事業(移行準備事業)の受託
○「社協だより」の発行
○ホームページの充実
○コミュニケーション支援事業の受託
○虐待啓発研修会
○日常生活自立支援事業「あすてらす」
○成年後見サポートセンターの受託
○オレンジカフェ「えんがわ」
○認知症初期集中支援チームの運営
○認知症家族交流会
○寝たきり高齢者へ紙おむつ・理容・美容券助成事業
○ひきこもり対策事業
○緊急対応食事サービス事業
○各種貸付事業
○福祉車両の貸出し(どりーむ号・いきいき号)
○タクシー料金助成事業
○日常生活外出支援ボランティア事業

福祉車両貸出事業

基本目標 4 安心して暮らせる地域環境づくり

○地域の安全見守り隊の推進・機動部隊の整備
○緊急時における助け合いの体制づくり
○災害時支援体制の確立
○災害支援ボランティアの育成
○子どもの遊び場設置・補修費助成事業

能登半島地震被災地復興支援ボランティアバス

～法人運営～

○理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催
○自主財源(社協会費、共同募金)の確保、善意銀行の運営
○職員の専門性の向上
○第3次地域福祉活動計画の進行管理
○第4次地域福祉活動計画の策定(令和8年度策定)
○中期経営計画の進行管理
○事業継続計画(BCP)の管理

令和7年度　社会福祉事業収入・支出予算

収入

（単位：千円）

大　区　分	予　算　額	大　区　分	予　算　額
会費収入	7,577	貸付事業収入	100
寄付金収入	1,000	事業収入	348
補助金収入	60,923	繰入金等収入	22,135
受託金収入	19,000	前年度繰越金	2,476
合　　計			113,559

支出

（単位：千円）

サービス区分	予　算　額	事業名等	内　　訳
法人運営事業	68,659		68,659
社会福祉金庫貸付事業	500		500
地域助成事業	2,422	地区社協助成	2,154
		子どもの遊び場遊具補修	268
地域活動推進事業	12,695	地区社協食事サービス事業	786
		地区社協連協研修	233
		ふれあい健康福祉まつり	4,800
		団体事務室維持管理費	290
		福祉協力員設置	626
		ミニサロン組織化事業	83
		地域の安全見守り隊	42
		地域の安全見守り隊機動力整備	404
		各団体補助金	2,390
		緊急時手話通訳派遣	96
		団体自主運営助成金	135
		広報活動(社協だより)	610
		地域福祉活動計画策定	1,900
		小地域福祉活動計画策定	300
紙おむつ支給事業	2,206		2,206
タクシー料金助成事業	2,635		2,635
理美容サービス料金助成事業	275		275
ボランティアセンター事業	608	中高生サマースクール	473
		サマースクールフォローアップ	9
		食事サービスボランティア連絡会	90
		ボランティアセンター運営	36
心配ごと相談所運営事業	169		169
コミュニケーション支援事業	5,289		5,289
生活福祉資金貸付事業	6,394		6,394
日常生活自立支援事業	829		829
重層的支援体制整備事業	5,935		5,935
成年後見サポートセンター事業	97		97
共同募金配分金事業	3,721	老人福祉活動費	111
		障害児・者福祉活動費	21
		児童・青少年福祉活動費	305
		福祉育成・援助活動費	1,849
		ボランティア活動育成事業費	1,105
		安心生活支援事業費	300
		災害見舞金	30
善意銀行事業	1,125		1,125
合　　計	113,559		113,559

令和7年度　公益事業収入・支出予算

（単位：千円）

	収　　入	支　　出
地域包括支援センター運営事業	54,928	54,928

役員、評議員、評議員選任・解任委員

（令和7年4月1日現在）

役員

会　長　遠藤　進（学識経験者）
副会長　稲川　洋（町議会）
理　事　山口　輝幸（自治会長連絡協議会）
理　事　塩谷　節子（ボランティア連絡協議会）
理　事　鈴木美恵子（女性団体連絡協議会）
理　事　直井喜江子（地区社協連絡協議会）
理　事　髙橋　温美（社会福祉事業役職員）
理　事　海老原昌幸（行政）
常務理事　飯田　康人（学識経験者）
監　事　大塚　正一（学識経験者）
監　事　田中　則子（学識経験者）

評議員選任・解任委員

内堀　晴弘（外部委員）
小平　政子（外部委員）
大塚　正一（監事）
田中　則子（監事）
天谷　明生（事務局）

評議員

小川　公威（町議会）
志鳥　勝則（町議会）
吉田　由美（教育委員会）
佐藤　広子（社会教育委員）
宇佐美邦義（民生委員児童委員協議会）
古岩井和義（自治会長連絡協議会）
中原みゆき（商工会）
田口　成子（ボランティア連絡協議会）
髙橋　正昭（シニアクラブ連合会）
市田トモ子（手をつなぐ育成会）
山崎　明（子ども会育成会）
山本　裕子（赤十字奉仕団）
伊藤　正（保護司会上三川町分区）
漆原　幸子（女性団体連絡協議会）
海老原　保（坂上小地区社協）
野澤　充（本郷小地区社協）
海老原則之（北小地区社協）
岡田　雄一（上三川小地区社協）
保坂　有二（明治小地区社協）
出井　敦仁（明治南小地区社協）
田仲　均（本郷北小地区社協）
大谷　有紀（福祉施設）
平塚　昭仁（学識経験・学校）

※敬称略

令和七年度 職員体制

常務理事兼事務局長　飯田　康人

◎総務企画係　電話　五六－三一六六

係長　天谷　明生
主査　白石　由佳

◎地域福祉係（ボランティアセンター）　電話　五六－三一六六

センター長　大塚友起子（事務局長兼務）
係長　田中　秀幸
主査　倉嶋明日香
主事　新井　真夏
主事補　小菅　翔平
生活福祉資金貸付事業相談員　林　弘乃
コミュニケーション支援担当　長谷川ハマ子

◎相談支援係（地域包括支援センター）　電話　五六－五五一三

センター長　（事務局長兼務）
係長（看護師・主任介護支援専門員）村山　真美
主査（保健師）　菅谷　玲美
主査（主任介護支援専門員）　神田　晴子
主査（社会福祉士）　小野田　恵
主事（社会福祉士）　菊地　則克
介護支援専門員　後藤　由香
社会福祉士　萩野江美子

職員体制の広報紙への掲載は、令和7年度をもちまして終了します。個人名が特殊詐欺事件で悪用されたり、インターネット上で公開されたりする被害を未然に防止するためです。ご理解くださいますようお願いします。

善意銀行ご寄付

皆様のあたたかいお気持ち

（令和7年3月21日～4月18日）　（）内数字は寄付回数

寄付者		寄付金額
匿名	(25)	3,302円
自治会公民館連絡協議会 様	(1)	233円
匿名	(38)	10,000円
匿名	(5)	10,000円
上小地区ふれあいいきいきサロン 様	(20)	38,157円
滝沢哲生 様	(11)	4,000円
上郷一区横屋敷女性の会 様	(1)	3,660円

新任職員あいさつ

小菅　翔平

4月1日付で採用となりました小菅翔平です。この度、山梨県より移住して参りました。以前も社会福祉協議会に勤めておりましたので、その経験を活かしながら、一日でも早く上三川町のことを学び、地域の皆様にもご指導いただきながら精一杯勤めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

上三川町内の
地域福祉活動をご紹介

ふれあい通信

上三川町では、多くの方がボランティア等の地域福祉活動を行っています。日々活動をしている方にインタビューを行いました。

名前：上野（うえの） 礼子（れいこ）様（74歳女性）

現在のボランティア活動

楽らく隊の隊長。
楽らく隊はいきいきサロンやミニサロンなどの地域の居場所等の活動をサポートするボランティア団体です。牛乳パックなどの身近な物を使った工作やみんなで歌を歌ったり、オカリナ演奏など、隊員同士でアイディアを出し合って活動しています。月１回、定例会を行い、スケジュールの確認や地域の居場所で行う工作等の試作などをわいわい楽しく行っています。

Q ボランティア活動を始めたきっかけは？

A　上三川で生まれ育ち、学校卒業後に就職し、定年まで働きました。周りの方に助けてもらって生活してきたので、これからは恩返ししていきたいと思っていました。平成１９年に町社協主催の「楽らく隊養成講座」を受講し、ボランティア活動を始めました。

Q ボランティア活動をする中で大切にしていることは？

A　地域の居場所で工作などを行う際は、皆さんの前で説明することがありますが、「皆さんと同じ目線で、一緒に活動する」ことを意識しています。指導者ではなく、サポーターなので、みんなで楽しい時間を過ごすことを大切にしています。

Q ボランティア活動でやりがいを感じたことは？

A　工作や歌を歌うなどの活動で、消極的だった男性も一緒に歌ったり、工作に参加してくれた時は、居場所がとても盛り上がってやりがいを感じます。

Q 最後に一言

A　「ボランティア」と聞くと『何か特別にできることがないとできない』と思っている方もいるようですが、おしゃべり、お茶のみができれば、ボランティアはできると思います。6月から町社協と町共催の「居場所サポートボランティア養成講座」が始まります。「楽らく隊」の紹介や活動体験もございますので、ぜひ参加してみてください。講座終了後に「楽らく隊」入隊もお待ちしています。

事務局からひとこと

楽らく隊の隊長だけでなくお住まいの自治会でミニサロンの代表も務める上野さん。終始笑顔でインタビューに答えていただき、ボランティア活動が充実していてとても楽しいご様子を伺うことができました。

下記のQRコードを読み取ると本会ホームページへアクセスできます。
各種事業報告や申請書、社協だよりバックナンバーなども掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

全てに関する連絡・相談・お問い合わせ先

社会福祉法人
上三川町社会福祉協議会
社協だよりについて、みなさまからのご意見をお寄せください。
住　所：上三川町上蒲生127－1
（上三川いきいきプラザ内）
電　話：0285－56－3166
ＦＡＸ：0285－56－3164
メール：soumu@kamisyakyo.or.jp
Ｈ　Ｐ：https://www.kamisyakyo.or.jp/

評議員会だより

左記のとおり会議が開催され、すべての議案が承認されました。

第３回評議員会（３月27日）

報告第４号　職員採用試験の結果について
報告第５号　第３次地域福祉活動計画の進捗状況について
議案第７号　令和６年度社会福祉事業補正予算第３号について
議案第８号　令和６年度公益事業補正予算第２号について
議案第９号　令和７年度事業計画について
議案第10号　令和７年度社会福祉事業収入支出予算について
議案第11号　令和７年度公益事業収入支出予算について